

もっと世界とつながる グッとくる マガジン

GM

GLOBAL MIND

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

[グローバルマインド]

67

Oct. 2022

学校法人 大阪国際学園
広報誌

特集

XYZ世代 を考察する

学長対談

大阪国際大学 陸上競技部

坂本 龍星さん、**早川 流星**さん

いまだきキーワード

Well-beingな働き方とは

学生のBOOKレビュー

人間科学部心理コミュニケーション学科3年

池田 紗良さん

学園HEAD LINE

研究室探訪



GM67

GLOBAL MIND

グローバル情報局

大阪国際学園から耳よりニュースをお届けします。

2022年4月、大阪国際中学校高等学校が開校!

校訓

人間をみがく

ビジョン

自分らしく生き抜く力を身につけ、
未来社会の担い手となる

ミッション

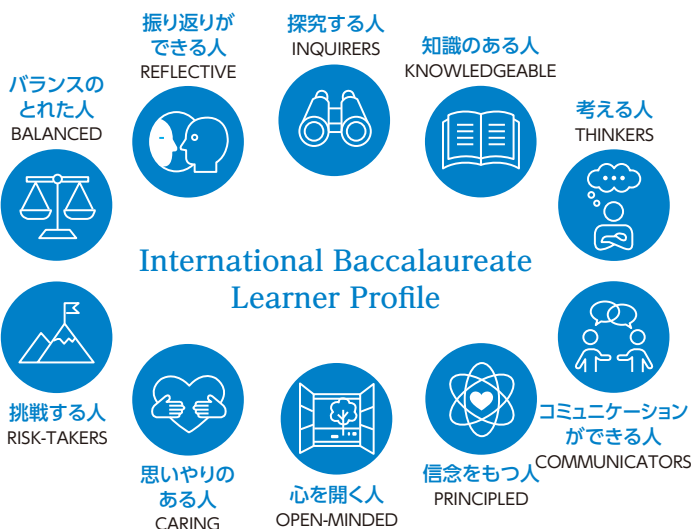
礼節を重んじ、世界に通じる
心豊かな人間を育成する
(GLOBAL MINDを醸成する)

大切にしている価値

1. 調和のとれた「知・徳・体」を身につける
2. 真の国際感覚を養う
3. 夢を抱き、志の実現に挑む



【校訓「人間をみがく」を表すモニュメント】
日によって、時間帯によって見え方が変わる
陶板モニュメント。「大阪国際滝井高等学校」と「大阪国際大和田中学校・高等学校」ゆかりの品から型を取った複数の陶板で飾られています。



Osaka International Junior High School/High School promises to carry out our educational activities setting the "IB Lerner Profile" as the whole school's required profile.

世界へ、私たちの輝きを。

大阪国際中学校高等学校は目指す生徒像として『国際バカロレア学習者像(IB Learner Profile)』を掲げ、教育活動に取り組みます。



XYZ世代 を考察する

このところ情報番組やビジネス雑誌などで頻出している「Z世代」。
いまどきの若者を括る単なる新語ではなく、実は広く世界で話題の
世代論です。その基本情報、改めて押さえておきましょう。

X世代、Y世代、Z世代とは

そもそもこのアルファベットによる世代分けは、主に欧米で扱われているもの。1953年に写真家ロバート・キャパが出版したフォトエッセイ集『Generation X』が由来です。題材が大战後の若者たちだったため、タイトルに「未知なる世代」の意味が込められました。その後1991年にカナダのダグラス・クープランドによる同名小説が国際的ベストセラーとなり、「ジェネレーションX」「X世代」という言葉が広く浸透したのです。

世代の線引きは国や文献によって前後し、厳密に何年から何年までと統一されてはいませんが、X世代はだいたい1965～1980年頃に生まれた人たちを指します。続く1981～1995年頃生まれて2000年代に成人を迎えた「ミレニアル世代」と重なる世代に、Xの次の文字を当ててY世代としました。

そのあと1996～2010年頃生まれた世代が、いま話題のZ世代です。現在、世界人口の4分の1を占め、アメリカではまさに消費の主力。マーケティングの対象として熱い視線を浴びているというわけです。

XYZの3世代は「デジタル機器の進化で区別して語られることが多いです。X世代の成人期は、ポケベルか



らガラケーを経て、徐々にインターネット環境が整う頃。アナログからの過渡期を経験し、デジタルネイティブではありません。Y世代は成人期にスマホも普及しはじめ、ネットを駆使するデジタルネイティブ。そしてZ世代は、幼い時からデジタル機器に触れてきた「真のデジタルネイティブ世代」と称されています。

Zでアルファベットは終わり、続く世代にはすでにギリシャ文字が当てられ、α世代と呼ばれています。全員が21世紀生まれで、最年長でも12歳のまだ子どもですが、デジタルネイティブの面ではZ世代のさらに先の世代。2025年には全世界に20億人、国際社会や世界経済への影響力は計り知れないものになると予想されています。

世代論が大好きと言われる日本では、これまで独自の名づけで世代を括ってきました。欧米のXYZ世代と並べてみましょう。

日本	新人類	バブル世代	団塊ジュニア世代	就職氷河期世代 (ポスト団塊ジュニア世代)	プレッシャー世代	ゆとり世代			脱ゆとり世代 (さとり世代)		
年	1965		1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010
欧米	ベビーブーマー世代	 X世代			 Y世代 (ミレニアル世代)			 Z世代		α世代	

※区分けには諸説あります

話題集中!

Z世代のプロフィール

いま注目される日本のZ世代は、いったいどんな若者たち?
上の世代と比べながらその特徴を見てみましょう。

「コスパよりタムパ」

すぐ上の世代が重視してきた「費用対効果」も引き継ぎつつ、Z世代がより意識するのが「時間対効果」。浴びる情報量が10年前の60倍と言われる今、費やす時間に対する満足感が重要なのです。ハッシュタグ検索や倍速視聴はタイムパフォーマンスを求めた結果です。

「SNSで自己発信」

上の世代はSNSを人間関係構築のために利用していましたが、Z世代にとっては自己発信に利用して自分をアピールするツール。同時に求める情報を探し出す収集ツールでもあります。

「スマホは最強の相棒」

ガラケーから入ったXY世代と違い、最初からスマホを手に入れているZ世代。ネットや買い物もPCではなく小さな画面からサッと行い、読書、ゲーム、果ては就職活動までスマホでこなします。

音楽のサブスク、神!

ニュースはSNSで知る。
翌朝来る新聞は鮮度が落ちる!

テレビ観ないなあ…
配信なら好きな時間に倍速できるし

美肌やメイクは
女子だけのものじゃないよ

「働き方は生活優先」

Z世代は不況の日本しか知らず、超現実的で安定志向。XY世代は仕事のために「ワークライフバランス」を考えますが、生活あっての「ライフワークバランス」と考えるのがZ世代です。プライベートを侵す残業や過重労働は好みません。一方、社会への関心や貢献意識が強く、働いて役立っている実感を得たいと思っています。

パパとママはX世代

ひとつのSNSで複数アカウントは常識!

ヒット曲はTikTokでバズるやつ。
昭和の曲もエモいよね♪

行きたいお店も、買いたいモノも、
#(ハッシュタグ)で探しちゃう

「人より〇〇とは思えない」

「高いブランド品を誰より早く」「がんばって出世したい」…こんな欲求は昭和・平成の遺物。Z世代はそもそも人と比べる価値観が希薄です。彼らが大切にするのは、あくまで自分自身が満足すること、自己充実なのです。

世界の成人年齢

今年2022年4月、日本の成人年齢が20歳から18歳に引き下げられました。明治9年以来約140年ぶりの改定にさまざまな議論が起こりましたが、世界における成人年齢はどのようなのでしょうか?



Column

成人年齢	国名
18歳	イギリス・イタリア・インド・オーストラリア・オランダ・スイス・スペイン・中国・ドイツ・フランス・メキシコ・ロシア
19歳	韓国
20歳	タイ・台湾(2023年18歳に引き下げ)
21歳	シンガポール
州により違う	アメリカ(18~21歳)・カナダ(18~19歳)

世界の主流は18歳。半分以上の国で18歳を成人と定めているようです。カナダやアメリカのように州によって違う国でも、やはり大半の州で18歳成人が規定されています。

イギリスやドイツなどヨーロッパの主要国では、**1960~70年代に相次いで21歳から18歳へと成人年齢の引き下げ**が行われました。兵役義務や学生運動などが引き下げ議論を喚起したそうで、今回の日本の場合は少々事情が違うようです。

アジアでは2013年の韓国(20歳→19歳)、今年の日本に続いて、2023年1月に台湾で成人年齢が引き下げられ、18歳が成人と定められます。

Z世代と保育現場のパラダイムシフト

大阪国際大学短期大学部
幼児保育学科(学科長)
久保田 健一郎 教授

デジタルネイティブが 保育現場で働く時代に

今、保育所や幼稚園、認定こども園などの保育現場に劇的なパラダイムシフトが起ころうとしています。それは、Z世代と呼ばれる若者たちが、保育の仕事に就いたり、子どもを育てる立場になったのが大きく影響しているといえるでしょう。

私がふだん接している学生たちもZ世代ですが、彼ら彼女らの特徴は、何と言ってもデジタルネイティブであること。幼い頃からインターネットに触れ、初めて手にしたモバイルツールはもちろんスマートフォン。そんな世代が社会に出て仕事をするようになった時、デジタルを活用していくのはごく自然な流れです。このような背景がもたらす「保育現場のDX化」が注目されているのです。

例えばパソコンやタブレットを用いて、園児の登園管理ができる。名前や生年月日だけでなくアレルギーなどの健康情報も一元管理ができる。保育日誌や連絡帳も手書きのアナログよりも短い時間で作成することができ、印刷も簡単です。また、これは実験的なケースですが、お昼寝の時間をAIで監視して、うつぶせ寝になっていないか、ちゃんと呼吸しているかをチェックしている園もあります。

このようにAIやインターネットで可能な仕事をデジタルに任せれば、保育現場の業務



改善につながり、保育士や幼稚園教諭の働き方が変わっていくでしょう。加えて、人間でなくては絶対にできないコミュニケーションやふれあいの部分により注力ができ、保育の質向上にもつながります。保育のDX化は厚生労働省も推進しており、その担い手としてのZ世代には大きな期待がかかっています。

Z世代の子育てもデジタル化 していくことが必至

保育現場だけではありません。Z世代が親になることで、子育てにも新しいスタイルや価値観が生まれそうです。「スマホ育児」という言葉をご存知でしょうか。その名の通り、子どもをあやしたり、育児情報を収集する際にスマートフォンを活用することなのですが、これまではスマホ育児に賛否両論の声がありました。

しかし私が思うに、今や生活必需品であ

るスマートフォンを育児に活用しないのは、まったく現実的ではありません。特に小さな子どもを育てる親は、多忙な毎日の中で自由な時間を細切れにしか取れなくなり、スマートフォンを利用して買い物ができたり、育児についての知識を学んだり、子どもをあやしたりできるのであれば、これほど有意義なツールはありません。

「インターネットの情報は玉石混交だから間違った知識を検索してしまう」という声もありますが、Z世代の情報感度やインターネットリテラシーは十分高いですし、足りない部分については教育で解決できる問題です。「電磁波の影響や視力の低下」への心配は、技術の力で解決すればいいのではないのでしょうか。保育の現場も、育児においても、Z世代が中心になって、より便利により効率的になると私は考えています。

幼児教育の重要性は 研究結果が示している

大阪国際大学短期大学部で幼児保育を学ぶ学生たち、そして保育の現場で働く卒

業生たちに伝えたいのは、皆さんの仕事が社会にとっていかに大切なのか、ということだと思います。米国における「ペリー就学前教育計画」は、貧困地域に育つ子どもたちを2つに分け、1つのグループに就学前教育をしっかりと施した結果を長年にわたって追跡した縦断的研究です。結果、大人になった時に、教育を受けたグループのほうが精神的にも、社会的・経済的にも充実した人生を送っているという結果が示されました。

質の高い幼児教育は、子どもたちの可能性を伸ばすだけでなく、ひいては国の経済成長にも繋がります。子育てもやはり、この国の未来を支える次世代の子どもたちは、大げさでなく皆さんの手にかかっています。どうか誇りと責任を持って、取り組んでいただきたいと願っています。



Well-being な働き方とは



働きがい生きがいにつなげ続けるために

“健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態(ウェルビーイング)にあることをいいます。”これは、世界保健機関(WHO)憲章の前文に登場する一文です。

ウェルビーイングを一般的な日本語で直訳すれば「幸福」「健康」となりますが、一時的に感じる「ハピネス」より持続性を含んだニュアンスがあるようです。もともとは社会福祉分野で使われる用語でしたが、近年はビジネスシーンに頻出するようになりました。では、働くということにおけるウェルビーイングとは? 世論調査で名高いアメリカの調査会社・ギャラップ社は5つの要素を掲げています。

Career Well-being

仕事に限らず私生活も含めたキャリア構築の充足(ワークライフバランス)

Social Well-being

上司や部下、同僚との良好な関係構築

Financial Well-being

納得できる報酬、適切な資産管理など、経済的な満足

Physical Well-being

心身ともに健康で、前向きに仕事に取り組める状態

Community Well-being

地域社会や共同体とつながる、コミュニティへの参加と貢献

働く人のモチベーションを上げ、企業がより良い組織運営を行うために、これらの要素が必要とされるということです。

INTERVIEW

ウェルビーイングが企業や社会にもたらすメリットとは

経営経済学部 経営学科
山本 誠一 准教授



ウェルビーイングとは何なのか? どういった意味があるのか? なぜ近年、企業がウェルビーイングを重要視しているのか? まずは、それを紐解くことから始めましょう。

ウェルビーイングは日本語でちょうどいい訳語がなく、「健康」「幸福」「福祉」という3つのキーワードで表現されます。要するに身体的、精神的、社会的に良好な状態であるということでしょうか。単なるハピネス、グッドよりも少し広く、個人のパフォーマンス向上や社会の幸福に関係しているのがウェルビーイングであり、だから昨今は企業からも注目されています。

例えば日本を代表するトヨタ自動車もウェルビーイングに取り組み企業のひとつです。2020年、豊田章男社長は「私たちは幸せを量産するという使命のもと、有事の時こそ、自分以外の誰かのために、世の中のために、未来のために仕事をしていきたい」という経営理念を語っています。「幸せの量産」をトヨタフィロソフィーとして掲げ、自社の従業員を含めて社会全体の幸福度を向上させたいと謳っているのです。サービス業である星野リゾートや楽天グループなども、消費者にモノや体験を通じて幸福を提供したいという理念を掲げており、これもウェルビーイングへの取り組みといえるでしょう。

これは大学の授業でも教えているのですが、そもそも企業

日本が取り組むべきウェルビーイング

さて、日本におけるウェルビーイングの現状は、欧米から後れをとっていると言わざるを得ません。例えば国連が発表する世界幸福度ランキングにおいて、日本は2021年が56位、2022年は54位。先進国の中で最低ランクです。特に低かった項目が「社会的自由度」「他者への寛容さ」。旧態依然な労働環境が残り、学歴や性別など属性で判断されがちな実情が反映されています。

ウェルビーイングを広めるカギのひとつになるのが、2019年に施行された「働き方改革」。この施策には長時間労働の是正、個々のライフスタイルに合わせた選択などにより多様で柔軟な働き方の実現が唱えられています。企業がウェルビーイングに取り組むことは、働き方改革を推進するのに有効なわけです。

今後も少子化に歯止めがかからず、労働人口の減少による労働力不足が深刻化する一方になりそうな日本。企業には、給与と待遇を引き上げるだけの従来型から進化させたさまざまな支援や施策で労働環境を整え、ウェルビーイングの浸透を世界基準に近づけていく努力が必要でしょう。



世界でウェルビーイングが求められる理由

先進国主導で経済効率ばかりを追求した結果、格差の拡大や環境の破壊など地球規模で問題が山積してきた現代社会。いまこそ、「モノの豊かさ」から「心の豊かさ」へと価値観を変化させようと、世界のビジネスシーンでウェルビーイングに注目が集まっています。

大きな背景となっているのが、ダイバーシティ=多様性社会が進んでいることです。性別、人種、宗教、障害の有無、価値観、性格…異なるバックグラウンドを持った様々な人材が集まってくるのが今の企業では当たり前。それぞれの能力を発揮させ、互いのコミュニケーションを円滑にするには、職場をウェルビーイングな環境に整えることが必要。それが実現できれば、仕事の効率が上がり業績アップにつながります。

また、企業がこぞ取り組むSDGsの目標にもウェルビーイングが関わっています。2030年までに持続可能でより良い世界を目指すための国際目標で、全17項目の3番目は「すべての人に健康と福祉を」。この項目達成のためにはウェルビーイングへの意識が不可欠なことは明白です。



経営には4つの大きな目的があります。1つ目は、経営者の理念を実現すること。2つ目は、社会に貢献すること。3つ目は社員を幸せにすること。そして4つ目は利益を出すこと。ウェルビーイングは、これらをすべて包含するフレームであり、企業にとって非常に重要な指標だといえるでしょう。ウェルビーイングによって従業員のモチベーションやパフォーマンスが上がり、それが生産性につながるメリットもあります。幸福な従業員はそうでない者に比べ、創造性や生産性が30%以上高いという研究もあります。企業にとってウェルビーイングがどれだけ重要かは推して知るべしですね。

ウェルビーイングは昨今、注目されているSDGsにもつながると私は思います。SDGsには「すべての人に健康と福祉を」「働きがいも経済成長も」などのゴールが設定されており、ウェルビーイングの考え方と密接に関連しています。2021年に国連が発表した世界幸福度ランキングでは、残念ながら日本は先進国最下位という結果でした。企業がウェルビーイングを通じ、世界共通目標であるSDGsを実現することで、日本社会の未来が変わるかもしれません。

自分の欠点や長所を客観的に見る、
論理的思考が身につきました。

クラブ活動は「人間力」を磨くために必要な経験だと思います。

何事にも全力で取り組み、諦めない姿勢を学ぶことができました。

今回の対談相手は、陸上競技部の主将を務める坂本龍星さんと、副主将の早川流星さんという二人の「りゅうせい」さんです。お二人は高校の陸上競技部でも同級生で、現在は大阪国際大学の人間科学部スポーツ行動学科4年生。坂本さんは400m、早川さんは100mと200mというどちらも短距離選手です。そんなシンクロするアスリートが、クラブ活動の魅力や成長の秘訣について、宮本学長と語りました。

大阪国際大学
大阪国際大学短期大学部

学長 宮本 郁夫

走り込まなくても速くなれると大学で知った。

宮本 お二人は本学で最大規模の陸上競技部で主将と副主将を務めていますね。なぜ大阪国際大学を進学先に選んだのですか。

坂本 オープンキャンパスで監督の小倉先生のお話を聞き、練習方針に共感したからです。

早川 私もです。陸上が強い大学で記録を伸ばしたいと思っていました。この大学が関西インカレの4×100mリレーで優勝したのを見てここしかない、と。

宮本 早川さんは100mで10秒台を出したとか。すごいね。

早川 はい。大学で記録がすごく伸びました。トレーニング次第でこれほど伸びるのだと実感しています。

坂本 高校までは走り込むのが練習だったのですが、このクラブでは身体能力やパフォーマンスを科学的に分析した上で、それぞれに合った技術練習メニューをこなします。



陸上競技部 主将 坂本龍星さん

そのおかげで様々な種目で自己ベストを更新できました。

主将、副主将の経験を通しリーダーシップを学ぶ。

宮本 お二人は今4年生ですね。将来の夢や目標は何ですか。

坂本 私は教員を目指しています。保健体育の教員免許が取得できるのもこの大学を選んだ理由です。

宮本 なるほど、クラブで主将として部員をまとめる経験は教育の場でも役立ちそうですね。

坂本 それは教育実習の場で感じました。主将として私が大事にしているのは部員たちとの密なコミュニケーションです。陸上競技部は136名もいるので、全員が常

に同じモチベーションを保てるかといえど難しい。その意識の差をコミュニケーションで埋めるよう努力していますが、教員と生徒の関係も同じかもしれません。

宮本 良い先生になれそうですね。早川さんの目標は？

早川 父が建築系の会社を経営しているので、卒業後は同じ業界に入って勉強したいと思っています。

宮本 どんな業界でも、君たちのようにクラブで頑張った経験は必ず役に立ちますよ。私も長くビジネスの世界で生きてきましたが、スポーツに打ち込んだ人とは、面接していても全然違う。明るいいし、礼儀正しいし、何より人間力がつくからね。

坂本 人間力かどうかは自分ではわかりませんが、何事も簡単に諦めない姿勢は身につきました。

早川 私は物事を論理的に考えるようになりました。ただがむしゃらに頑張るのではなく、自分の欠点や長所を分析して練習を重ねる中で記録は伸びていく。そんな論理思考は陸上以外でも役立ちます。

宮本 陸上をはじめ、スポーツをやっていると自己ベストという考え方が身につくのもいいね。もちろん競技だから他人に勝つという目標もあるけれど、自分のベストに挑むことを意識しますか？

坂本 そうですね。自己ベストを更新するほど嬉しいことはありません。

宮本 大事なのは自分を常にアップグレードしていくことなのだとスポーツは教えてくれるんです。他

人との競争に勝つのは、おまけみたいなものでね。自分を常に成長させていくという姿勢をクラブを通して身につけられたら最高ですね。それは社会人になって最も必要な生き方だから。

早川 わかるような気がします。競技でも誰かに負ける時ではなく、自分が全力を出しきれなかった時に一番くやしい思いをしますから。そのために、後悔しないために、日々の練習にはベストを尽くすんです。

世代を超えて大事なものは人間力を磨くこと。

坂本 人生の先輩として学長に聞きたいことがあります。ここだけは曲げたくないという、生き方の信念を教えてください。

宮本 そうですね、75歳まで生き、たくさんの方の失敗を重ねて、ようやく辿り着いたのは、とてもシンプルで根源的な3つの「人として求められる資質」です。

早川 ぜひ、お聞きしたいです！

宮本 1つ目は「誠実さと公平さ」。誠実さは英語でシンセリティといい、近年はビジネスの現場でも重要視されているようですね。公平さはフェアネス。グローバル化、多様化する社会において物事をフェアネスに

見る視点は人間として不可欠です。
坂本 ダイバーシティにも通じるところがありますね。

宮本 2つ目は、「優しさ」と思いやりと率直さ」。3つ目は「強く逞しく、ハングリーに」。どれも当たり前のごとくに思えますが、これらを備えていれば何でも成し遂げられるし、何も怖くない。

早川 優しさ、素直さと同時にハングリーさを持つことが大切なのですね。難しそうですが、心がけていきたいと思っています。

宮本 その「素直さ」が大事なんですよ（笑）。素直で且つ、ハングリーな人は伸びるからね。これらは結局、先ほどにも申し上げた「人間力」に集約されるかもしれませんが。私の世代も、お二人のようなZ世代も、時代を超えて求められる人間力を、これからも磨き続けてほしいと思います。

坂本・早川 はい！ありがとうございます。ございました。



陸上競技部 副主将 早川流星さん

滝井高・大和田中高より新校へ伝統継承し、 開校式・入学式を挙行



開校式

4月6日、開校式を迎えるにあたり、滝井高の同窓会より寄贈されたハナミズキを新校へ植樹しました。滝井高の在校生代表が「ハナミズキの花言葉『永続性』」が表すように、今後は新校でしっかり根を張り成長することを願う」と挨拶しました。

同日、開校式を挙行し、奥田理事長から松下校長へと真新しい校旗が手渡されました。滝井高・大和田中高両校の卒業生、地域社会などによって紡がれてきた思いや歴史と伝統が継承された新しい学校「大阪国際中学校高等学校」がスタート。開校式に続いて第1回目の中高合同入学式を挙行しました。



入学式



ハナミズキを新校へ植樹

大学・こども園

協働プロジェクト「ベジキャンパス®」で ミニトマトの苗植え体験会を実施

2022年度プロジェクトテーマの一つでもある「ベジキャンパスの実現」に向けて、人間健康科学科の学生たちが大学内にミニトマトを栽培する企画を考え、5月末、大和田幼稚園園児(年中組)も参加して「ミニトマト苗植え体験会」を実施。園児たちは学生たちに植え方を教わりながら一緒にミニトマトの苗50本を植えました。



大学・短大

地域防災啓発活動 ～プレッパーズ部による 「避難所エクササイズ動画」～



Youtubeで
ご視聴いただけます

地域防災啓発活動に取り組むプレッパーズ部が、避難所生活など狭い範囲で行える主に下肢を使う運動の動画を作成しました。守口市歌に合わせて、楽しく大きく動くことで筋力トレーニングになります。



国際中高

米・ハーバード大学アカペラグループ「Din & Tonics」が来校

米・ハーバード大学アカペラグループ「Din & Tonics」が7月25日に来校し、大阪国際中学校高等学校でミニライブと交流会を開催しました。交流会は、高校IBコースの生徒と留学生たちを中心に9つのグループに分かれて行い、参加した生徒たちは、ハーバード大学生に直に質問し、大学生たちの答えを熱心に聞いていました。コロナ禍で間際まで開催が危ぶまれましたが、「Din & Tonics」のワールドツアー2022は、日本の学校では唯一本校でのみ開催されました。



卒業生、スポーツ界で活躍

本学園の卒業生が各種スポーツ界で活躍中! 応援のほど宜しくお願いいたします。

宮下 遥さん (岡山シーガルズ)、 金田 修佳さん (岡山シーガルズ)

「FIVBバレーボールネーションズリーグ2022」(VNL2022)女子大会に出場する、バレーボール女子日本代表チーム・火の鳥NIPPONの登録選手25人に選ばれました。
〈両選手とも大和田中学、滝井高 卒〉

圓乗 由理奈さん (TME UKS SMS Łódź所属)

圓乗さんが所属するUKS SMS Łódźがポーランド女子サッカーリーグで優勝しました(5月22日)。同リーグにおいてタイトルを獲得した初の日本人選手となりました。
〈滝井高、大学/スポーツ行動学科 卒〉

牛窪 心希さん (花園近鉄ライナーズ)

ジャパンラグビーリーグワンディビジョン1へ昇格した「花園近鉄ライナーズ」に入団し(6月17日)、本学初のリーグワンプレーヤーとなりました。
〈大学/人間健康科学科 卒〉

連携協定締結

NLC SCHERZO (西日本女子ラクロスクラブチーム)と連携協定を締結



「Ai Love All Tennis Academy」を運営する株式会社アイラブオールと連携協定を締結



この両連携協定により、大学女子ラクロス部・国際中高女子ラクロス部と男子硬式テニス部を強化し、全国大会出場を目指して活動していきます。

〈短期大学部×滝井高×大和田幼稚園〉 協働イベントを実施

「コロコロころころ つくってあそぼう! ころがしゲーム!」

6月4日、幼児保育学科の学生・滝井高生その他、保育に興味のある外部高校生が、大和田幼稚園5歳児68名を対象としたイベントを開催。園児達とゲーム制作をしながら子どもへの声かけや援助の仕方、子どもの表現を学びました。



最新情報は各校公式サイト、Facebook、Twitter、Instagramで発信中!

大阪国際学園

検索

■ 大阪国際大学
<https://www.oiu.ac.jp>



■ 大阪国際滝井高等学校
<https://www.takii-h.oiu.ed.jp>



■ 幼連連携型認定こども園
大阪国際大和田幼稚園
<https://www.owada-k.oiu.ed.jp>



■ 大阪国際大学短期大学部
<https://www.oiu.ac.jp/oic>



■ 大阪国際中学校高等学校
<https://www.kokusai-h.oiu.ed.jp/>



■ 大阪国際学園
<https://www.oiei.jp>



『7.5グラムの奇跡』

砥上裕将 著
講談社 2021年



タイトルの7.5グラムとは何の重さだろうか?実は成人の眼球の重さである。前口径約24ミリ、重量約7.5グラム、容積約6.5ミリリットルで人の眼球は構成されている。500円硬貨が約7グラムなのでほぼ同じくらいだ。この作品は眼科で視能訓練士として働く主人公が、目に病気を患った患者さんとの関わりや病気を通して成長していく話である。皆さんも一度は眼科に行って視力や眼圧などの検査をしたことがあるだろう。その眼科内の検査技師を「視能訓練士」ということを今回私は初めて知った。

五話からなる短編集で私が特に印象深かったのは、二話の「カラコンに依存している若い女性の話だ。カラコンに依存したきっかけは、元カレからの心無い一言であった。今まで気にしていなかったことを誰かから言われ、それがコンプレックスに変わっていく経験が私にもあるため、依存してしまう気持ちにすごく共感した。しかし、この若い女性のようにコンタクトを長時間使用すると、黒目の部分が傷つき、進行すると失明する可能性がある。視力は一度失うと二度と元に戻らない。若い女性は、主人公が言った「大切な人に向けてのことのできるこんな微笑みがあるなら、こんな優しい瞳があるなら、僕はあなたを本当に美しい人だと思えます」というあたたかい言葉から、前向きな気持ちで治療に臨み、失明せず心の傷も癒えた。ほかに、心因性の視覚障害の話や緑内障の話などが収録されている。目の病気をあまり知らなかったが、専門用語を用いて詳しく書かれており知ることができた。健康であること、今見えること、未来を見ようとすることは当たり前ではなく、奇跡なのだと感じた。

カラコンやコンタクトを使用する人が多い今、自分の瞳について考えてみてほしい。私も自分の瞳を大切にしようと思う。



研究室 探訪

大阪国際大学短期大学部
ライフデザイン学科
加藤 淳一 講師 研究室



加藤先生は沖縄のかりゆしウェアを着て、満面の笑顔で迎えてくれた。研究室の棚には、クマノミをはじめ様々な生き物のフィギュアが並ぶ。フィギュアが趣味ですか？の問いに「もともと専門は動物学なんです。幼いころから動物が好きで、大学は野生動物を研究するため農学部へ進学しました」と先生。けれど進学した大学は都心にあり、もともと自然の中で生きる動物に触れたいという思いから、世

界各国を巡ったというこの経験がのちの観光学を学ぶきっかけとなる。そんな中で沖縄を訪れたことが、先生の転機となる。

「那覇空港に近づくとき飛行機から海が見えますよね。その深い紺碧の海を見て、自分は将来ここに住むことになるだろうと。大学を卒業後は、動物系専門学校の教員になり、29歳の時に沖縄へ移住しました。」

その後、縁あって琉球大学の大学院で観光学を学ぶことになった先生。「観光産業って世界最大の成長産業の一つなんです。旅行会社だけじゃない、ホテルもエアーラインも、ファッションや出版まであらゆる事象が観光につながってくる。私は大学生の時からずっとスクーバダイビングをやっていました。マリンスポーツも体験観光の一種です。これは学び甲斐のある分野だとワクワクしましたね。既に結婚して子供もいる年齢からの大学院入学は、大変でしたが充実した日々。論文のテーマは、沖縄観光と海洋スポーツを絡めたものです。大学院を修了後は、観光業界のリアルを体験すべく観光バスの添乗員をしたり、ホテルや海浜観光施設で働いていた。

その頃から今もお先生が力を注いでいるのが、環境保護保全活動。「日本のサンゴ礁の約90%が分布する沖縄海域で初めてダイビングをしたのが1990年頃だったのですが、その時は本当に驚くほど綺麗なサンゴ礁が広がっていました。ですが

1998年前後にサンゴの大白化現象が起きて8〜9割が死んでしまったのです。何とかしなければと思い、環境保護・保全に関わるNPO法人を仲間と立ち上げ、副会長になりました。」

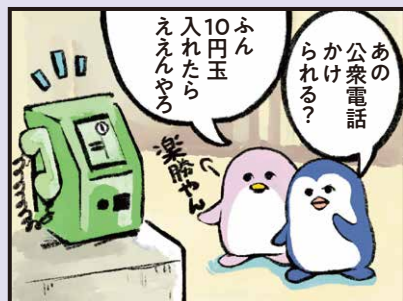


この団体が発行する書籍に執筆したり、月に何度も現地に出かけて啓発活動をサポートするなど、沖縄の海を守るために精力的に活動中だという。「サンゴは沖縄にとって重要な観光資源。様々な生き物や沖縄の海を愛する人間として、そしてダイビングインストラクターとしても海洋環境を保護保全することはライフワークですね。」

そして、2018年より大阪国際大学の講師として教鞭を取ることに。現在はライフデザイン学科で観光概論やホテル実務論・海外観光資源などを教えている。「観光学の魅力は、何と言っても多彩なビジネスに直結すること。経営や経済について学べますし、スポーツや健康にもつながります。この裾野の広さ、面白さを伝えるのが私の使命だと思っています」と先生は目を輝かせながら、今年度よりスタートする「沖縄リゾート研修」の実施に向け、準備に取り組んでいる。

GM四コマ劇場 vol.10

子ども 母ちゃん Z世代とX世代



作者：ナオコ

独 白

大阪国際学園
理事長 奥田 吾朗

至誠通天

「至誠通天（しせいいつてん）」は、中国の儒学者・孟子の残した言葉である。書が好きだった先々代の奥田政三理事長は、掛け軸や額に好きな言葉をいくつか書き残している。その一つにこの言葉がある。経済の観点だけで考えると、人口が減少し、先行きが誰しも不安になる今の日本である。誠実に取り組み組んでいけば必ず願いは叶うというこの言葉は、人々が生きていく中で、幾度となく念じているのではないだろうか。現在と過去、日本と中国を比べようもないが、孟子がこの言葉を残したときの心情に思いを馳せる。

今年、父が他界して27年が経ち、私は今年55歳を迎える。50歳を越えると天命を知るといふ。父が晩年「これからお世話になった人々にご恩返しをしよう」と思っていたのに残念だ」と幾度も私に話をしていてことを思い出す。もう少しだけ、父の分も合わせて社会に貢献できるよう努めたい。未来を創造する子どもたちに力を授けたい。子どもたちに真の生きる力を。

- 本誌に記載の学年、肩書き等はすべて情報収集時のもので、発行時とは異なることがあります。ご了承願います。
- 本誌へのご意見、お問い合わせ等は大阪国際学園総務課までご連絡ください。

各学校の最新ニュースは公式サイトでご覧いただけます。

大阪国際学園

検索



この印刷製品は、
環境に配慮した資材と
工場で製造されています。



学校法人 大阪国際学園

大阪国際大学
大阪国際大学短期大学部
大阪国際滝井高等学校
大阪国際中学校高等学校
幼保連携型認定こども園
大阪国際大和田幼稚園